

浜銀総研 News Release



2013年 5 月23日

2013年夏の神奈川県民ボーナスの見通し

―― 民間 1 人あたりのボーナス支給額は前年比1.0%増と増加に転じる ――

要 旨

- 今夏の神奈川県における民間ボーナスは、景気の持ち直しを受けて企業業績が上向き始めたことなどを反映して、1 人あたり支給額が前年比1.0%増の45.7万円になると予測した。また、景気の持ち直しを映じて支給者割合が上昇することから、支給対象者数も増加する見込みである。この結果、総支給額は同1.7%増と、2 年ぶりに増加する見通しである。
- なお、公務員の 1 人あたり支給額は前年比0.2%減を見込む。民間と公務員とを合わせた官民計の 1 人あたり支給額は同0.8%増となり、官民計の支給総額は同1.4%増となる見通しである。
- 県内の雇用情勢が緩やかに持ち直すなか、株価上昇による資産効果などで消費マインドは大きく改善している。また、足元で高額消費などにも明るさが見え始めている。今夏のボーナス支給額の増加が、消費者の購買意欲を高め、夏場の個人消費を後押しすることに期待したい。

景気の持ち直しを受けてボーナスを取り巻く環境が改善

神奈川県内の景気は、昨年夏場以降、欧州債務危機に伴う海外景気減速の影響などにより停滞色を強めていたものの、年明け後は持ち直しの動きが広がり始めている。すなわち、円高修正の効果などにより輸出が下げ止まりつつあるとともに、エコカー補助金終了の影響が一巡したことなどから、生産にも持ち直しの動きが現れ始めている。また、株高による消費マインドの改善を受けて個人消費も底堅い動きとなっている。

こうした景気動向を反映して、企業業績にも上向く兆しがみえる。日本銀行横浜支店「企業短期経済観測調査（神奈川県分、2013年 3 月調査）」によれば、県内企業の2012年度の経常利益（実績見込み、プラントを除く全産業）は前年比0.9%増と 2 年ぶりに増益となる見通しで、2013年度（計画、同）も同4.4%増と増益幅が拡大する計画である。

一方、神奈川県公表の「平成25年春季賃上げ要求妥結状況（第 3 回）」をみると、2013年の春闘における県内企業の従業者 1 人あたりの賃上げ率は1.64%と前年の1.46%を上回る結果となっている。景気持ち直しの恩恵が企業業績の改善を通じて所得面にも波及し始めている様子がうかがえることから、今夏の県民の民間ボーナスは前年比でプラスに転じると予想される。

民間ボーナスは1人あたり支給額が前年比1.0%増、支給総額が1.7%増

こうした状況を踏まえて今夏の県民ボーナスの予測を行ったところ、民間企業に勤める県民の支給対象者1人あたりの支給額は前年比1.0%増の45.7万円になる見通しとなった(図表1)。2012年夏、冬のボーナスは前年比でマイナスとなっていたが、今夏のボーナスは3期(半期ベース)ぶりの増加に転じると予測した(図表2)。企業規模別には、大企業が含まれる「県内在住かつ県内従業(30人以上事業所)」が44.6万円と同1.4%の増加、中小企業を多く含む「同(30人未満事業所)」が34.8万円と同0.5%の増加を見込む。また、大企業が相対的に多く含まれる「県内在住で県外従業」についても同1.3%増の59.1万円を見込んだ(図表3)。

一方、企業の雇用者数は「県内在住かつ県内従業(30人以上事業所)」や「県内在住で県外従業」で減少することから、全体としては小幅な前年割れが見込まれる。もっとも、ボーナス支給を見合わせていた中小企業の一部などでは足元の景気持ち直しを受けて、ボーナス支給を再開するとみられることから、支給者割合は上昇すると予想される。この結果、民間1人あたり支給額に支給対象者数を掛け合わせた民間の支給総額は同1.7%増の1兆4,260億円となる見込みである。

なお、公務員1人あたりのボーナス支給額は前年比0.2%減となる見込みである。この結果、民間と公務員を合わせた官民計の1人あたり支給額は前年比0.8%増となり、官民計の支給総額は同1.4%増の1兆6,152億円と前年実績を上回ると予測した。

ボーナス支給額増加による夏場の個人消費後押しを期待

県内の雇用情勢が緩やかに持ち直すなか、株価上昇による資産効果などで消費マインドは大きく改善している。足元の消費動向をみると、日本百貨店協会公表の4月の横浜市内の百貨店売上高が2か月連続で前年水準を上回るなど回復の動きを示しており、高額消費などにも明るさが見え始めている。こうした状況下、今夏のボーナス支給額の増加が、消費者の購買意欲を高め、夏場の個人消費を後押しすることに期待したい。

【本件についてのお問い合わせ先】

(株)浜銀総合研究所 調査部 小泉、安藤
電話：045-225-2375(ダイヤルイン)

(図表 1) 2013 年夏の民間及び
官民ボーナス

(表 1 - 1 民間ボーナス)

	民 間	
	1人あたり 支給額	支給総額
2013年夏	45.7万円 前年比：1.0%	14.3千億円 前年比：1.7%
2012年夏	45.2万円 前年比：▲0.5%	14.0千億円 前年比：▲0.4%

(表 1 - 2 官民ボーナス)

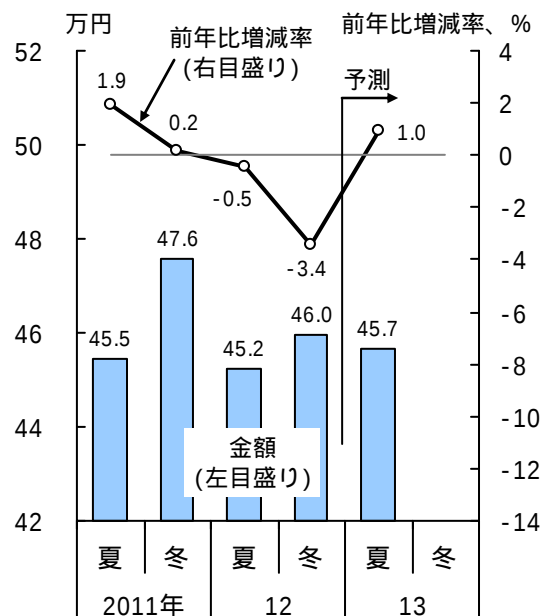
	官 民 計	
	1人あたり 支給額	支給総額
2013年夏	48.3万円 前年比：0.8%	16.2千億円 前年比：1.4%
2012年夏	47.9万円 前年比：▲0.6%	15.9千億円 前年比：▲0.6%

(注 1)「民間」は県内に住み県内で働いている人、
県内に住み県外で働いている人の合計。

(注 2)「官民計」は「民間」と県民で公務に就い
ている人とを合わせたもの。

(神奈川県「毎月勤労統計地方調査」、総務省「国
勢調査」などより浜銀総研作成)

(図表 2) 民間 1 人あたりボーナス
支給額の推移



(注) 2013 年夏は予測値。それ以前は実績推
計値。

(神奈川県「毎月勤労統計地方調査」、総務
省「国勢調査」などより浜銀総研作成)

(図表 3) 民間ボーナス予測の概要

		雇用者数	×	支給者割合	×	1人あたり 支給額	=	総 額
		(万人)				(万円)		(千億円)
民 間		356.4 ▲0.2%		87.6% (+0.8%)		45.7 1.0%		14.3 1.7%
県内在住かつ県内従業 (30人以上事業所)	同 上	151.5 ▲1.0%		86.0% (+1.0%)		44.6 1.4%		5.8 1.6%
	同 上	110.5 1.2%				34.8 0.5%		3.3 2.9%
	県内在住で県外従業	94.3 ▲0.5%		92.1% (+0.3%)		59.1 1.3%		5.1 1.1%

(注 1) 下段は前年比増減率。ただし、支給者割合については前年差。

(注 2) 雇用者数は、過去の伸び率などを参考にして求めたボーナス支給時点の予測値。

(注 3) 支給者割合は雇用者のうちボーナスが支給される者の割合であり、過去の変動を参考に予測した。

(注 4) 1人あたり支給額は、企業の景況感の動向等を説明変数とする関数推計などを参考に予測した。

(神奈川県「毎月勤労統計地方調査」、総務省「国勢調査」などより浜銀総研作成)

以 上

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。